

高知工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	建築史		
科目基礎情報							
科目番号	1020	科目区分	専門 / 必修				
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2				
開設学科	環境都市デザイン工学科	対象学年	4				
開設期	前期	週時間数	2				
教科書/教材	教科書: 図説建築の歴史 (学芸出版社)						
担当教員	西岡 建雄						
目的・到達目標							
【到達目標】 1. 西洋建築史で時代、地域による建築様式の違いが理解できる。 2. 日本建築史で時代、地域による建築様式の違いが理解できる。 3. 近代建築史で建築様式の違いが理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	西洋建築史で時代、地域による建築様式の違いが理解でき、説明出来る。	西洋建築史で時代、地域による建築様式の違いが理解できる。	西洋建築史で時代、地域による建築様式の違いが理解できない。				
評価項目2	日本建築史で時代、地域による建築様式の違いが理解でき、説明出来る。	日本建築史で時代、地域による建築様式の違いが理解できる。	日本建築史で時代、地域による建築様式の違いが理解できない。				
評価項目3	近代建築史で建築様式の違いが理解でき、説明出来る。	近代建築史で建築様式の違いが理解できる。	近代建築史で建築様式の違いが理解できない。				
学科の到達目標項目との関係							
JABEE新基準1(2) (d) 学習・教育到達目標 2(B)							
教育方法等							
概要	建築の歴史を学ぶということは、我々の先人たちが、それぞれの時代において、行ってきた試行錯誤の後を確認することである。過去に目を向ける態度から、現在という時代、さらに未来にあるべき建築とは何かを見定める見識と知恵の基礎教養を身につける。						
授業の進め方と授業内容・方法	それぞれの時代の様子を教科書を読み、講義で学び、その後、各自で様子をレポートにまとめ整理していきます。定期的にグループ学習、プレゼンテーションを行い、理解を深めます。						
注意点	試験の成績70%、平素の学習状況等(課題・小テスト・レポート等を含む)30%の割合で総合的に評価する。学期末の成績は、中間と期末の各期間の評価の平均とし、上記到達目標の程度によって評価する。技術者が身につけるべき専門基礎として、到達目標に対する達成度を試験等において評価する。						
授業計画							
	週	授業内容・方法	週ごとの到達目標				
前期	1stQ	1週	・ 建築史に対する取り組み方[1-3]: 世界の歴史観を学び、建築史との関連性を考える。	講義により歴史観を学ぶ。			
		2週	・ 建築史に対する取り組み方[1-3]: 世界の歴史観を学び、建築史との関連性を考える。	講義により歴史観を学ぶ。			
		3週	・ 建築史に対する取り組み方[1-3]: 世界の歴史観を学び、建築史との関連性を考える。	グループ学習で各自の歴史観を構築する。			
		4週	近代建築史[4-6]: ライト、コルビュジェ、ミース	講義と映像で近代建築を具体的に学ぶ。			
		5週	近代建築史[4-6]: ライト、コルビュジェ、ミース	講義と映像で近代建築を具体的に学ぶ。			
		6週	近代建築史[4-6]: ライト、コルビュジェ、ミース	グループ学習で各自の近代建築観を構築する。			
		7週	西洋建築史: 古代[7],	講義により西洋建築様式を学ぶ。			
		8週	西洋建築史: 中世[8]	講義により西洋建築様式を学ぶ。			
	2ndQ	9週	西洋建築史: 近世[9]	グループ学習で各自の西洋建築史観を構築する。			
		10週	日本建築史: 古代[10],	講義により日本建築様式を学ぶ。			
		11週	日本建築史: 中世[11],	講義により日本建築様式を学ぶ。			
		12週	日本建築史: 近世[12]	グループ学習で各自の日本建築史観を構築する。			
		13週	近代建築史: 西洋・日本[13],	講義により近代建築様式を学ぶ。			
		14週	近代建築史: 戦後[14],	講義により近代建築様式を学ぶ。			
		15週	近代建築史: まとめ[15]	グループ学習で各自の建築史観を構築する。			
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
基礎的能力	工学基礎	技術史	技術史	歴史の大きな流れの中で、科学技術が社会に与えた影響を理解し、自らの果たしていく役割や責任を理解できる。	2		
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	材料	建築材料の変遷や発展について説明できる。	1		
				建築材料の特徴・分類を説明できる。	1		
				建築材料の規格・要求性能について説明することができる。	1		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	20	10	100
基礎的能力	40	0	0	0	10	10	60
専門的能力	15	0	0	0	5	0	20
分野横断的能力	15	0	0	0	5	0	20